

科目区分	専門教育科目	科目名	医療的ケア		科目コード	17F770	担当者	植木 明子			
対象学生	介護福祉士コース2年生	学期区分	通年	単位数	2	卒業要件	必修				
						免許・資格要件	介護福祉士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
介護福祉士として必要な、喀痰吸引、経管栄養を中心とした医療的ケアを安全かつ適切に行うための知識・技術を習得する。						1. 「 <u>尽心</u> 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 <u>創造</u> 」 高度な知性と創造力	3. 「 <u>実践</u> 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考・表現・創造力	⑤ 主体性・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	医療的ケアにおける倫理的配慮や個人の尊厳が理解できる。										
2.	安全に痰の吸引や経管栄養ができるための留意点を言える。										
3.	安全に口腔内吸引・気管切開吸引が手順に沿って実施できる										
4.	安全に経鼻栄養・胃ろう栄養が手順に沿って実施できる							◎	○		
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						実技試験（40%） 定期試験（40%） 提出物（10%） 提出物（10%）					
講義ではDVDを使い、実習で見学した喀痰吸引や胃ろうについてグループ内で意見交換をしながら技術・倫理観について深める。演習ではモデル人形を使ったシミュレーション授業を行い、口腔内吸引・鼻腔内吸引・気管カニューレ内部吸引・胃ろうまたは腸ろう・経鼻経管栄養の実技の各体験を一人5回以上ずつ行う。											
準備学修						課題等への対応					
毎回、復習予習のプリントをして臨む事。付録のDVDを見てイメージトレーニングしておくこと。 実技試験に合格するまで演習は行います。予習・復習60分程度						小テスト・期末テストの返却					
授業計画											
第1回	オリエンテーション人間と社会Ⅰ			第16回	高齢者及び障害児・障害者の喀痰吸引概論7		第31回	経管栄養実施手順3			
第2回	保健医療制度とチーム医療			第17回	高齢者及び障害児・障害者の喀痰吸引概論8		第32回	経管栄養実施手順4			
第3回	安全な療養生活1			第18回	高齢者及び障害児者の喀痰吸引実施手順1		第33回	経管栄養実施手順5			
第4回	安全な療養生活1			第19回	高齢者及び障害児者の喀痰吸引実施手順2		第34回	心配蘇生			
第5回	安全な療養生活3			第20回	高齢者及び障害児者の喀痰吸引実施手順3		第35回	喀痰吸引の演習1			
第6回	清潔保持と感染予防1			第21回	高齢者及び障害児者の経管栄養概論2		第36回	喀痰吸引の演習2			
第7回	清潔保持と感染予防2			第22回	高齢者及び障害児者の経管栄養概論1		第37回	喀痰吸引の演習3			
第8回	健康状態の保持1			第23回	高齢者及び障害児者の経管栄養概論2		第38回	経管栄養演習1			
第9回	健康状態の保持2			第24回	高齢者及び障害児者の経管栄養概論3		第39回	経管栄養演習2			
第10回	高齢者及び障害児・障害者の喀痰吸引概論1			第25回	高齢者及び障害児者の経管栄養概論4		第40回	経管栄養演習3			
第11回	高齢者及び障害児・障害者の喀痰吸引概論3			第26回	高齢者及び障害児者の経管栄養概論5						
第12回	高齢者及び障害児・障害者の喀痰吸引概論3			第27回	高齢者及び障害児者の経管栄養概論6						
第13回	高齢者及び障害児・障害者の喀痰吸引概論4			第28回	高齢者及び障害児者の経管栄養概論7						
第14回	高齢者及び障害児・障害者の喀痰吸引概論5			第29回	経管栄養実施手順1						
第15回	高齢者及び障害児・障害者の喀痰吸引概論6			第30回	経管栄養実施手順2						
教科書・参考書				受講生へのメッセージ							
最新介護福祉全書「医療的ケア」メジカルフレンド社				「個人の尊厳」「医療の倫理」「利用者や家族の理解」を常に考えて行動しましょう。							

科目区分	専門教育科目	科目名	キャリアアップセミナー	科目コード	17F780	担当者	長尾 久美子、荒木 正平				
対象学生	介護福祉士コース2年生	学期区分	通年	単位数	2	卒業要件	選択				
						免許・資格要件					
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
介護福祉士国家試験に向け合格基準に達する基礎知識や問題解決力を修得し、就職に向け意欲的に取り組む。						1. 「 尽心 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考・表現・創造力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	介護福祉士国家試験に合格する。										
2.	就職に向け意欲的に取り組む。										
3.											
4.								◎	◎	○	◎
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						模擬試験成績・国家試験到達状況（50%） 臨時試験（20%） 提出物（20%） 受講態度（10%）					
前期は参考書「国試ナビ2017」の内容の完全に理解できるように、家庭学習課題と連動させながら、主体的な学びを促す授業とする。また、暗記した内容を問題解決に活かすことができるように、項目ごとに関連過去問題を行い、自分で解説できるまで個別指導する。後期は、実力強化のために過去問題の実施・解説を行う。また、毎回、成績を採点集計し、個人ごとの成績状況、問題全体の正解率など集計分析してフィードバックする。											
準備学修						課題等への対応					
参考書「国家試験問題解説2018」を利用して、計画的な自己学習をする。通常の学習時間は、国家試験対策として、毎日1時間程度は確保するが、この授業で得点が低い場合は、十分理解するまで相当の時間を確保する。また、後期には、自己学習時間をさらに増やす。						毎回、学生が採点したものを回収し、個人別、問題別に集計分析し、次回、学生に返し見直しができるようにする。また、問題別の正解率を分析し、授業に反映させる。					
授業計画											
第1回	国家試験合格に向けて取り組むべきこと 国家試験出題基準について				第16回	実力強化	過去問題				
第2回	就職にあたって（キャリア支援センター長）				第17回	実力強化	過去問題				
第3回	重要事項まとめ（国試ナビ2017 社会のしくみ） 関連問題				第18回	実力強化	過去問題				
第4回	重要事項まとめ（国試ナビ2017 社会保障制度） 関連問題				第19回	実力強化	過去問題（低正解率問題）・解説				
第5回	重要事項まとめ（国試ナビ2017 介護保険制度） 関連問題				第20回	実力強化	過去問題（低正解率問題）・解説				
第6回	重要事項まとめ（国試ナビ2017 社会福祉制度） 関連問題				第21回	全国一斉模擬試験（中央法規 11月2日）					
第7回	重要事項まとめ（国試ナビ2017 障害者総合支援制度） 関連問題				第22回	全国一斉模擬試験の見直し					
第8回	重要事項まとめ（国試ナビ2017 認知症の理解） 関連問題				第23回	国家試験直前対策					
第9回	重要事項まとめ（国試ナビ2017 認知症の理解） 関連問題				第24回	国家試験直前対策					
第10回	重要事項まとめ（国試ナビ2017の 認知症の理解） 関連問題				第25回	国家試験直前対策					
第11回	重要事項まとめ（国試ナビ2017の 障害の理解） 関連問題				第26回	国家試験直前対策					
第12回	重要事項応用（総合問題） 過去問題				第27回	国家試験直前対策					
第13回	学内実力試験（A問題）				第28回	国家試験直前対策					
第14回	学内実力試験（B問題）				第29回	国家試験直前対策					
第15回	学内実力試験（A・B問題）の解説				第30回	国家試験直前対策					
教科書・参考書						受講生へのメッセージ					
参考書 「QB介護福祉士国家試験問題解説2018」 （MEDIC MEDIA） 「介護福祉士国試ナビ2018」 （中央法規）						介護福祉士国家試験に全員で合格し、介護福祉士として羽ばたきましょう。					